

経済指標ウォッチャー

# 米国雇用統計 非農業部門雇用者数は予想を下回るも高水準

労働参加率の上昇が進めば、雇用環境はコロナ前の水準へ回復も期待

## 米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月の第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

## 非農業部門雇用者数は市場予想を下回る

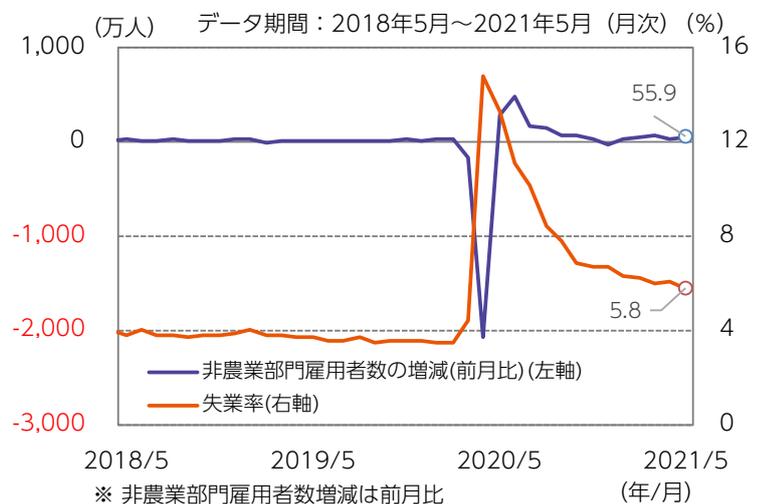
6月4日に米国労働省が公表した5月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比55.9万人増と市場予想の同67.4万人増を下回る結果となりましたが、一方で失業率は5.8%と前月から0.3%改善し、市場予想（5.9%）も上回る改善となりました。非農業部門雇用者数の増加数は市場予想を下回ったものの、失業率が低下し、非農業部門雇用者数も50万人を超える増加となったことから、雇用市場は順調に改善しているとの見方が優勢となっているようです（図表1）。

## 労働参加率の動向に注目

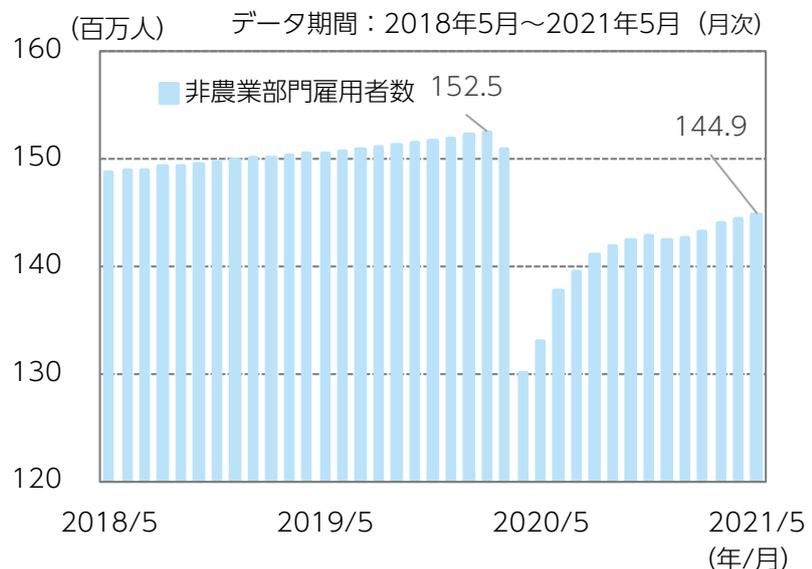
非農業部門雇用者数は新型コロナウイルス感染拡大前の2020年2月の水準に比べ、約760万人少ない水準まで回復してきました（図表2）。失業期間が27週間以上になる長期失業者は、5月には375.2万人と前月から43.1万人減少しました。長期にわたり職探しを行ってきた求職者が職を得つつあると考えられます。

FRB（米連邦準備制度理事会）が重要とみなしている労働参加率（生産年齢人口(16歳以上の人口)に占める労働力人口(就業者+失業者)の割合）は61.6%と依然として感染拡大前の63.3%を大きく下回っています。9月まで延長された失業給付の影響等もあり、職探しをするよりも失業給付を選択する失業者が依然として多いことを示唆しているものと思われます。しかし、追加の失業給付が期限切れとなる9月上旬には労働市場に失業者が戻ってくる可能性は高いとみられます。労働参加率が上昇すれば、足元で顕在化しつつある物流等に関する人手不足も徐々に解消され、非農業部門雇用者数もコロナ前の水準に近づいていくことが想定されます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：非農業部門雇用者数の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>